

授業科目	海外旅行実務					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	八尋 春海						
授業概要	国家資格試験である総合旅行業務取扱管理者試験の中でも、主として「海外旅行実務」科目に対応する内容について学習する。国内旅行業務取扱管理者試験に合格していない学生も多くいるため、総合と国内の両方で必要とされる「旅行業法」「各種約款」についての学習も十分な時間を確保する。さらに、総合旅行業務取扱管理者試験で配点が高い旅行業英語も毎時間、テーマを決めて学ぶ。						

対面授業

授業
方法

旅行業務取扱管理者試験の過去問題を解説していく。旅行業英語については、業界事情の解説を行う。関税についてはアクティブラーニングの手法を使う。ICTの技術を活用してOAGを運用できるようにする。

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1 総合旅行業務取扱管理者試験の「海外旅行実務」「業法」「約款」において50点を取ることができる。 2 授業中に配布する「旅行業英語」のうち50%が理解できる。
理想的レベル	1 総合旅行業務取扱管理者試験の「海外旅行実務」「業法」「約款」において60点以上を取ることができる。 2 授業中に配布する「旅行業英語」のうち60%以上が理解できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合(数値)	備考
試験	45%	
小テスト	35%	
レポート	0	
発表(口頭、プレゼンテーション)	0	
レポート外の提出物	20%	
その他	0	

カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	T021106J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題(予習・復習)

1回の目安時間(時間)

1 予習

次回学ぶ「旅行業英語」に出ている英単語の意味を調べる。

4

2 復習

授業で学んだ「旅行業英語」に出てきた英単語の使用例をインターネットで調べる。

授業計画

第1回	オリエンテーションをする。旅行業英語を学ぶ。
第2回	募集型企画旅行のプランを分析する。旅行業英語を学ぶ。
第3回	LCCの特徴を学ぶ。旅行業英語を学ぶ。

第4回	空港の特徴を学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第5回	宿泊施設の特徴を学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第6回	パスポート、ビザについて学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第7回	旅行荷物に関する制限について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第8回	海外の観光施設について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第9回	海外の鉄道について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。 小テスト
第10回	海外の飲食店について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第11回	免税について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第12回	出入国手続き実務について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第13回	各種約款について学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第14回	業法を学ぶ。旅行業英語を学ぶ。
第15回	まとめ
テキスト	JTB 総合研究所のテキスト
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	図書館1階にある資格のコーナーの旅行業務取扱管理者試験の参考書
課題に対するフィードバックの方法	授業終了時にその日の授業のポイントについてのコメントを提出させる。提出されたコメントに対して次回の授業の際に、理想的なポイントを提示する。また、質問があれば回答し、理解が十分にできていないと思われる内容があれば追加で解説を行う。
学生へのメッセージ・コメント	「海外地理」については、本授業では十分な学習時間を確保できないため、「欧米観光文化地理」「アジア観光文化地理」の授業を受講するのが望ましい。また、「映画で学ぶ世界遺産」で学んだ内容の復習をすることも有効である。